

二〇〇一年カナダ法会での説法

李洪志

二〇〇一年五月十九日 オタワにて

皆さん、こんにちは！（拍手）

まず、この大会が圓滿に行なわれたことに対してお祝いの意を表したいと思います。（拍手） 大法弟子として、皆さんもご存知のように今回のことは歴史上の如何なる修煉とも違い、今までになかったことです。なぜでしょうか。皆さんが大法の弟子だからです。歴史上の如何なる修煉もただ単に個人の向上と個人の圓滿成就のためのものでしたが、皆さんは違います。ご存知のように、未来に再び多くの方が法を得ます。つまり大法が伝え出された後、二段階に分けて進んでいるのです。第一歩としては、法を正すことの中で大法弟子を確立するのです。将来の人の修煉は法を正すこととは何の関係もなく、まったく単純に、自己の向上と圓滿成就のためだけのものです。すなわち、大法弟子として皆さんに偉大な歴史的使命を授けたということですから、単純な個人の修煉とは別のこととなります。皆さんは法を守り、法を実証しなければなりません。法が迫害を受けている時、いかに邪悪を暴露させ、よりよく大法と圓融するかなどは皆さんがやるべきことです。実践の中で、皆さんもよく行ないました。このことは師父にははっきりと分かっています。

私たちが修めているのは正法なので、どんなことをするにしても善を以って対処しています。ですから、私たちが善念をもって法を実証し、邪悪を暴露するときに行なった全てのことに弟子の偉大さと慈悲が表れました。同時に、邪悪なものに対しては、一掃しなければなりません。なぜならば、邪悪なものは宇宙や衆生を破壊しているからです。つまり、これらの邪悪がなければ、法を正す必要性もありません。如何なる歴史時期にもこのようなことはありませんでした。前例はなく、参考にするものもありませんが、この全てをよく行なうことができたことは、大法弟子としての偉大さを本当に体現しました。しかもこれは皆さんにとっての幸運です。歴史上の如何なる生命にもこのような機会はなく、これは初めてのことなのです。この二年近く、皆さんは非常によく行ないました。この点について私は多くの場で言及しました。しかも学習者全体が法を正す過程において、普通によく行なったという以上に、非常によく行なったのです。中国大陸の学習者であっても、中国大陸以外の学習者であっても、皆、非常によく行ない、大法弟子の役割を充分發揮し、身につけた能力と自分自身の条件

を駆使して、常人にできないことをやり遂げました。特に大法のために人体を失われた方々は…。皆、法を実証する中で現れた偉大な行為です。

法を正す過程にあって、今まで皆さんはよく行ないましたが、邪悪が根絶されない限り、これからももっとよく行ない、邪悪を暴露させ、根絶しなければならないのです。この邪悪な破壊の中で、もっとも深く害されたのは華人です。中国政府の中にあるあの邪悪で悪質な政治集団が講じた全ての手段は、皆、最も卑劣で、邪悪で、歴史上にかつてなかったものです。既に邪悪の限りを極めており、卑劣の極まりに達したのです。一つの政府が利用され、下劣に行動してしまいましたが、これはかつてなかったことです。大法弟子が善念をもって行なった全ては、世人を感動させ、各次元の生命を感動させました。それに対して、中国大陸に現れた邪悪は各次元の生命を激怒させたのです。これらの邪悪と私たちの善は鮮烈な対比をなしています。ご存知のように、邪悪はもうじき根絶されると分かっているながらも、執拗なまでにはびこっています。邪悪はなんといっても悪であり、悪辣であり、邪なのです。まさに毒薬のように、人を害さずにはいられない存在です。邪悪がこのようなものであるが故に、根絶する時も手を緩めてはならず、徹底的に根絶するしかありません。ここで指しているのは人間のことでなく、人間を操る邪悪な生命のことです。私の弟子たちには実は能力があります。中国と他の国の学習者、しかも一部の新しい学習者も含めて実は皆、能力があるのです。法を正しているから、今のこの各段階は将来の異なる歴史時期の異なる状況下に残しておくための、試金石であり試練なのです。それは宇宙の歴史に残しておく偉大な法です。個人の修煉として言えば、皆さんは既に修煉の過程を歩んできました。皆さんは大法のために確立された生命であり、最終段階の道は皆さん各自の先天の最高位置に向かって昇華していくのです。大法弟子の寛大な度量は全てを忍耐できますが、将来、異なる歴史に異なることが現れてきます。この宇宙大法は、異なる時期の異なる次元の衆生のために異なる時期・次元に問題が現れた時の比較対照を残し、生命のために異なる歴史時期に現れる各種の状況への対処法を残します。つまり今日に現れた各種の問題は、皆、歴史のために残した参照事例となります。その現れ方が複雑で、何の順序もないように見えますが、実は非常に順序よく組み立てられています。つまり歴史の上で将来、異なる時期に問題が現れた時の対処法を残したのです。もし、邪悪が既に救いようがないところまでできてしまったら、どのように邪悪に対処するかということは、個人の修煉の問題ではなく、宇宙の法を守ることなのです。だからこそ、必要な時に異なる次元における異なる能力を用いてそれを根絶することができるのです。

ご存知のように、私の法は皆さんに説いているだけではなく、各次元の生命体も聞

いています。言い換えれば、異なる次元に皆、法を正すという任務があります。特殊な状況のもとでは、邪悪を根絶してもよいのです。このようにしても大丈夫です。これは歴史上、かつての修煉にはなかったことです。この時期に皆さんに現れてきた各方面での各種の正しい状態や、各種の状態のもとでいかに行なったかも全て歴史に残しておきます。ですから、これは非常に厳粛なことであると同時に、非常に重要なことでもあります。もちろん、皆さんが邪悪を根絶する時に注意しなければならないのは、顕示心、常人の恐怖心、或いは不純な念を抱いてはいけないということです。また、そんなことでは目的を達成できません。どうして皆さんにこのような能力があるのでしょうか。一人の偉大な修煉者だからこそ、このような能力があるのです。ですから、この念を発する時には、偉大な修煉者が発した念でなければいけません。一部の学習者はこの能力を使う時、時に利いたり利かなかったりしますが、問題はまさにここにあるのです。私はこのように話しましたが、本当に邪悪を根絶するべきときには、絶対に根絶しなければなりません。邪悪を根絶しているのは皆さんだけではありません。もし修煉者が根絶しきれないときは、神ないし、更に高い次元の神も邪悪の根絶に加わるのです。

また、学習者は今後、集団煉功或いはこのような大会の時に、5分間入静し、結印して座り、意念の中で自分の思想の中の良くない念、業力と良くない観念、或いは外来の邪魔を根絶します。これらは死ねと念じれば、根絶されるのです。5分間で利きます。(拍手) 集団煉功の時に三界内の邪悪を根絶することを念じ、片手を胸の前に立てて、真念で5分間考えると良いです。(拍手) 確かに利きます。皆さんはなんととっても偉大な修煉者で、常人とは違うのです。しかし、もし修煉者がやるべきではないことに使えば利きません。しかも、その念が発されるとすぐに報いがあり、或いは次元が落ちてしまいます。しっかり覚えておきなさい！

次にもう一つの問題について話したいと思います。どういう問題でしょうか。ご存知のように、現在の科学が認識している万有引力の概念は完全に間違っています。どうして人間が認識している万有引力のような状態があるのでしょうか。地球と三界内にある全ての生命、空気や水などを含む全ての物質、三界内に存在している全ての物体は、三界内の全ての次元の粒子によって構成されています。各次元の各種の粒子の間にはつながりがあります。このつながりは三界内において、引っ張る力により伸びたり移動したりします。つまり、引っ張るとゴム紐のように伸びます。緩めたらまた元のところに戻ります。つまり、粒子と粒子の間に基本的に安定している存在形式があるので、地球という環境のいかなるものを移動しても、また地上に戻るのです。もちろん石をほかのところにおいて、元の所まで戻らないことを言っているのではあり

ません。このような概念ではありません。地球の表面はある次元の限界なのです。この次元の中にあれば横方向で運動できます。皆同じ次元にあるからです。もし、その次元を超越した高い次元へ移動すると、引っ張られ元のところに戻ります。地球上の物体はつまりこの次元の粒子が存在している境地にほかなりません。

皆さん考えてみてください。全宇宙の天体は非常に歴大であり、三界内の高いところに立って眺めれば、人や地球も非常に小さく見えます。人間がニューヨークからカナダまで来たようですが、実は彼らには全く移動していないように見えます。なぜなら、あなたが移動した範囲は非常に狭いからです。ロケット、宇宙船が天に上った時、つまり地球の異なる次元の粒子で構成された環境から離れるとき、人間はロケットで衝撃力を強め、強い力で移動させています。三界内にはご存知のように大気圏があります。見た目は大気圏ですが、実はその中には無数の微視的な生命によって構成された環境であり、人間が生きていくことができるように安定させているものなのです。一旦大気圏から抜け出し離れると、多くの分子と分子の間のつながりは強く引っ張る力で遊離させられます。すると、果てにある粒子とまだつながっているだけで、その力はさほど強くはなくなります。つまり、既に地球という環境に存在しなくとも、三界内のほかの粒子の境地とつながっているのです。そこに安定して存在できるというわけです。これが衛星がどうしてそこにいられるかの理由です。もちろん、重さが同じで体積が違ってそのつながり関係は同じです。体積が小さく密度の大きい物体であっても、体積の大きい物体であっても、そのつながり関係が同じであるがゆえに、同じ重さと感じられるのです。細かく話すとまだまだいろんなことがあります。皆さんに教えますが、先ほど語ったことの意味は『万有引力は存在しない』ということと、その本当の原因は、この環境内の粒子を環境に存在させるため、お互いの間につながりを持たせていることにある、ということです。

それでは、修煉者についてですが、人はどうして体から離れ、浮き上がることができるのでしょうか？ それは地球とつながりのある表面物質粒子で構成された皆さんの身体に変化が起こったからです。この環境にある粒子との関係を断てば、皆さんにとっては粒子の粘着力がなくなり、引っ張る力の制約力がなくなるため、浮き上がれるのです。あなたが修煉によってある境地に到達すれば、あなたの微視的生命で構成された部分はその境地と繋がっています。更に高い境地まで修煉すれば、更に高い境地の粒子とつながり、到達した境地より下の全ての次元とのつながりは断たれることとなります。すなわち、このような関係です。大周天が通るといえるのはこの次元における現れですが、皆さんは既にとっくにこの次元を突破しています。ただ鍵を掛けられているだけです。今後の修煉の中で、学習者には相継ぎ各種の状態が現れます。で

すから皆さんにこのことについて話しました。今日はこのぐらいにしましょう。法会が更によく開催されるよう望んでいます。(拍手)

私は皆さんが非常に苦勞しているのを知っています。仕事も勉強もしなければなりませんし、また家庭生活や、社会活動もあり、同時に家の面倒も見ながら仕事をきちんとしなければなりません。更に法もよく勉強し、煉功し、また真相をも伝えなければなりません。難しいのです！ 時間的にも経済的にも結構、難しいのです。難しいからこそ、威徳を体現出来るのです。難しいからこそ、威徳を樹立する良い機会なのです。素晴らしいことです。皆さんは修煉者だから、難しくても更によく行なわなければなりません。話はこのぐらいにしましょう (拍手)。